

Leciono C09

「普遍」を扱う単語群

ĉio, ĉiu, ĉia, ĉies, ĉie, ĉiel, ĉial, ĉiam, ĉiom

語頭の文字が ” ĉi ” で始まる一連の9つの語があります。
「すべて」を表します。

ĉio すべて / ĉiu それぞれ / ĉia あらゆる種類の

ĉies みんなの / ĉie いたるところ / ĉiel あらゆる方法で

ĉial あらゆる理由で / ĉiam 常に / ĉiom 全部

例文を示します。

- (1) Ĉio estas en ordo. すべてが整っている。万事よし。
- (2) Ĉiu havas sian propran nomon. おのおのが自分の名前を持っている。
Ĉiuj ĉeestis en la kunsido. 全員がその会合に出席した。
Ĉiu homo havas la fundamentajn homajn rajtojn. 各々の人が基本的人権を有している。
- (3) Printempe ĉie en Japanio ni povas ĝui florojn de sakuro. 春は日本のいたるところで桜の花を楽しむことができる。
- (4) Memoru ĉiam, ke ni povas teni la homajn rajtojn per nia ĉiama klopodo. 常に尽力することで人権を維持できることを常に覚えていなさい。

練習問題 “ ĉi ” で始まる 9 つの語からなる単語群から適切なものを () に記入しましょう。

- (1) () estas preta. すべてが用意できている。
- (2) La saĝulo komprenas (), kion la sinjorino diris. その賢い人はその婦人の言ったことをすべて理解している。
- (3) () kursano lernas Esperanton diligente. 各々の講習生はエスペラントを勤勉に学習している。
- (4) () lernantoj de Esperanto povos atingi iun nivelon de ĝia lingva kapablo. エスペラントのすべての学習者は言語能力のあるレベルに達することができるだろう。
- (5) Preskaŭ () en la mondo vi trovos geamikojn per Esperanto. 世界のほとんどいたるところであなたはエスペラントを使って友達を見つけることができるだろう。
- (6) Oni ne povas esti () streĉa. Ripozo necesas. 人は常に緊張していることはできない。休息が必要だ。



ĉio は単数のみです。対格は ĉion (すべてを) です。
ĉiu も ĉia も 複数で 複数語尾 -j を、対格で 対格語尾 -n を つけます。ĉiuj は「すべて(の)」です。

ordo 秩序 propra 固有の kunsido 会合 fundamenta 基本的な
rajto 権利 teni 保持する klopodo 尽力 preta 用意できている
saĝulo 賢い人 atingi 到達する nivelo レベル
lingva 言語の kapablo 能力 streĉa 緊張している ripozo 休息